

見積仕様書

第1節 業務目的

本業務は、河口堰周辺の河床状況把握を行うため、河川測量（深淺測量、河道横断測量）を行うものです。

第2節 測定位置

測定位置は利根川河口堰上下流域及び黒部川水門下流域である。また、測定の範囲は別添図—1のとおりです。なお、機構が設置した基準点は担当職員が別途指示したものを使用するものとします。

第3節 業務内容

本業務は河口堰周辺の河床状況把握を行うため、深淺測量、河川測量を行います。本業務で実施する測量は、第2節に示す範囲を対象に水深1m以上はナローマルチビーム測深機を用いた深淺測量を行い、水深1m未満は別途河川定期横断測量を行います。

3-1 現地踏査

測量方法、使用する主要な機器、要員、日程等について現地調査を行い、適切な作業計画の立案を行う。なお、現地踏査は別添図—1に示す流域を対象に行います。

3-2 河川測量・深淺測量

1. 艀装テスト

測量作業に先立ち、艀装テストを行い、機器の調整等を行います。

2. 深淺測量（水深 $\geq 1\text{m}$ ）

別添図—1に示す流域を対象にナローマルチビーム測深機（分解能5.0cm以下）を用いた深淺測量を行います。

3-3 結果整理

測量作業が完了した段階で、測量成果資料として次のものを作成します。作成にあたっては、深淺測量の結果と別途実施する河川定期横断測量の結果を合成します。

1. 利根川本川 横断図 14 測線（縮尺：横 1/1000、縦 1/100）
2. 黒部川 横断図 9 測線（縮尺：横 1/100）
3. 利根川本川 縦断図 堰上下流各 12 測線（縮尺：横 1/500、縦 1/100）
4. 黒部川 縦断図 中心 1 測線（縮尺：横 1/1000、縦 1/100）
5. 等深線図（縮尺：1/2000）
6. ナローマルチビーム測量 3DCAD データ 1 式

7. その他担当職員が指示する資料

第4節 成果品の検定

本業務は、日本測量協会技術センター等高度な技術水準を持つ機関における審査を受けるものではありません。

第5節 作業船の使用について

作業船は原則として、業務を実施する者が用意したものを使用します。

第6節 留意事項

※別紙-1 の歩掛参考見積内容に表示している職種等は参考であり、必要な人工等がわかるように表現いただければ様式は自由です。

※見積にあたっては、各種経费率および精度管理費係数等は国土交通省が公表する令和8年度の測量業務積算基準に記載の考え方を参考としますが、通信運搬費など御社にて必要と判断されました内容がありましたら内訳機材等の明示をお願いいたします。

※深淺測量とデータ入力および結果整理は 10,000m² あたりの歩掛を入力いただくようになっております。御社の見積作成にあたって想定数量あたり（利根川河口堰上流域:110,000m²、利根川河口堰下流域:160,000m²、黒部川水門下流域:40,000m²）にて提出される場合は、割返しの数量を修正されるか、1回あたりと記入をお願いいたします。

－ 以 上 －

別添図-1 深浅測量平面図

